



令和4年度
健康経営
—事例集—



全国健康保険協会 滋賀支部
協会けんぽ

目次

はじめに 支部長からのメッセージ	3
------------------------	---

取り組み事例

小林事務機 株式会社	4
甲賀協同ガス 株式会社	5
一般財団法人 滋賀保健研究センター	6
株式会社 テクナート	7
社会保険労務士法人 中嶋事務所	8
山科精器 株式会社	9
株式会社 山正	10
八日市商工会議所	11

アンケート

健康アクション宣言事業所への 「健康経営の取り組みに関するアンケート」集計	12
--	----

おしらせ

健康アクション宣言イメージマンガ 会社の未来は従業員の健康にあり! 三成さんとともに健康アクション宣言	16
従業員の健康が会社の未来につながる 健康アクション宣言から始める健康経営	18
さらなるステップアップへ 健康経営優良法人認定を目指しましょう!	19

はじめに 支部長からのメッセージ

日頃より協会けんぽ滋賀支部の事業運営にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

わたくしども協会けんぽ滋賀支部は、主に中小企業等で働く方とそのご家族の皆様を中心に、滋賀県民の約4分の1にあたる35万人を超える加入者と2万1,000の事業所からなる医療保険者です。

さて、職場の健康づくりは、事業主様のリーダーシップのもと、従業員一人ひとりが意識をもち、事業所全体で生活習慣の改善に取り組み、働きやすい職場づくりを実践していくことが大切です。

今回作成しました「健康経営事例集」は、当支部の健康経営事業「健康アクション宣言」に取り組む事業所よりご回答いただいたアンケート等をもとに、経済産業省・日本健康会議の「健康経営優良法人認定2022」を取得した事業所の優れた取組事例等を紹介するものです。

健康経営®に積極的に取り組む事業所の事例を広く情報発信することで、これから健康経営に取り組む事業所や、さらなるステップアップのため健康経営優良法人認定取得を目指している事業所及び取組のアイデアをお探しの事業所等、すべての事業所にこの冊子をお役立ていただければ幸いです。

最後に、当冊子の作成にあたり、ご協力いただきました事業所の皆様に厚く御礼申し上げます。



全国健康保険協会滋賀支部
支部長 西田 毅

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

「ありがとう楽喜券(ラッキー券)」で コミュニケーションの活性化へ

取り組みのきっかけ

- ありがとうカンパニーとして、社員が心身ともに元気に働ける職場を目指して

取り組みの内容

- オリジナルThanksCard「ありがとう楽喜券(ラッキー券)」を活用したコミュニケーションの活性化
- 就業時間を利用した、社員旅行やグランドゴルフ大会の開催

取り組みの成果

- 社員同士の交流が活発に
- 社員同士の喜びの共有



取り組みの きっかけは？

企業理念で掲げる「全社員共に働く仲間に対して、私たちは、ありがとうの心で感謝・感動・感激を発振・共有し、社員みんなの幸せ創りに貢献します」に基づき、わが社の宝である社員が心身ともに元気に働ける職場を目指し、取り組みを開始しました。

取り組み内容を 教えてください

当社では、嬉しかったことや良かったことなど、社員同士で感謝の気持ちを伝える

取り組みの 成果は？

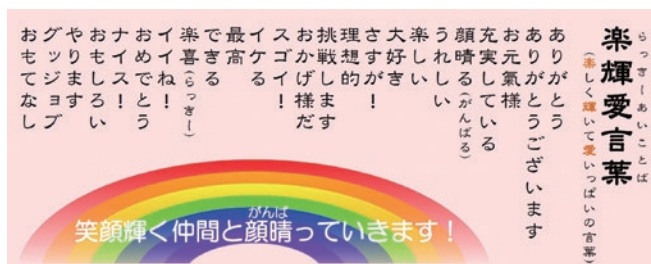
「ありがとう楽喜券(ラッキー券)」

際に、当社オリジナルのThanks Card「ありがとう楽喜券(ラッキー券)」を発券・交換する活動を継続してきました。部署や年齢、役職、勤務地などにこだわらないグループやチームを編成し、発券枚数を競い合ったり、表彰を行うなど、コミュニケーション活性化や社内情報交換に活用しています。そのほか、就業時間を利した社員旅行の開催など、社員同士の交流の機会を設けています。

「ありがとう楽喜券(ラッキー券)」について、紙での発行に加えグループウェアの機能を活用したデジタルでの発行も開始しました。これにより楽喜券の発行枚数が年間3,660枚となり、コロナ禍で停滞していた社員同士の交流が活発になり、職場の活性化につながりました。また、10月29日(土)には楽喜券表彰を行い、社員同士の喜びの共有の機会にもなりました。

今後の目標を 教えてください

オフィスをより仕事しやすい環境に進化させるためには、社員同士の相互コミュニケーションをさらに推進していく必要があります。そのため、毎週のWebによる全体朝礼の後に、ブレイクアウトセッションの機能を利用した、ランダムなメンバーによるモバイル上での「雑談タイム」の場を企画しています。その他、ワークライフバランスの向上のため、フレックスタイム制の導入も検討しています。



全社員が大切にしている楽しく輝いて愛いっぱいの合言葉です。若手プロジェクトチームが中心となって作成しました。

小林事務機 株式会社

事務機器、PC・ネットワーク機器、システム、オフィス家具の販売等

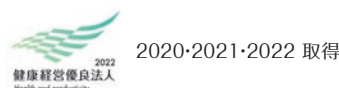
〒527-0031
東近江市幸町2-28
設立 1969年6月4日
代表取締役 小林 弘和
従業員数 37名
<https://www.kbm.co.jp>



企業ごとに「Well-being(幸福・健康)」の推進方法は異なると思いますが、各企業の持つ課題でもある「人財の確保」について、「健康経営」の活動が有効な解決策の一つになると思います。



代表取締役
小林 弘和



健診受診後の再検査100%を目指して 会社一丸となって社員の健康管理を推進

取り組みの きっかけは？

以前より、社員の健康管理を会社で一丸となって取り組んでいきたいと考えていました。そのような中、協会けんぽのセミナーで「健康アクション宣言」を知り、エントリールがきっかけです。すでに取り組んでいる活動も多く、健康づくりの土台があったので、スムーズに健康経営を進めることができました。

取り組み内容を 教えてください

健診受診後の再検査

取り組みのきっかけ

- 社員の健康管理を会社一丸で取り組んでいきたい

取り組みの内容

- 健診後の再検査費用の半額負担、再検査日の特別休暇扱い
- 女性社員の乳腺超音波検査（エコー検査）の費用補助
- ウェルネス休暇の導入
- インフルエンザ予防接種の全額補助

取り組みの成果

- 再検査受診率の向上
- 社員の健康意識の向上



当社マスコット Lifeくん



インフルエンザ予防接種費用の会社負担、新型コロナウイルスのワクチン接種日や副反応による体調不良日の特別休暇扱いを実施しています。

取り組みの 成果は？

健診受診後の再検査については、所属長からも促すことにより、受診率が向上しています。また、これら健康づくりの取り組みについて、経営層からの積極的な働きかけもあり、社員の健康意識は確実に向上しています。

今後の目標を 教えてください

まずは再検査受診率100%を目指します。また、現在、産業医の設置を検討しており、将来的には産業医と連携して、健康づくりを推進していきたいと考えています。

社員の健康を増進することが、会社のブランディングや、イメージアップにつながれば、採用活動でのPRにもなり、ひいては、業績向上や会社の発展にもつながりますので、将来を見据えて、会社一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

甲賀協同ガス 株式会社

都市ガス、LPガス小売事業、一般ガス道管事業

〒528-0068

甲賀市水口町ひのきが丘12

創業 1968年10月1日

代表取締役社長 森永 浩之

従業員数 45名

<https://www.kokakyodogas.co.jp>



2022 取得

健康経営優良法人
Health and productivity



健康経営の推進は、社員の健康を増進し、それを会社の利益と発展につなげていくものであり、会社の将来のために取り組んでいかなければならない、大きな課題だと思えます。



代表取締役社長
森永 浩之

若年層からの健康意識の醸成へ 年齢に関係なく、対象者全員に特定保健指導を実施

取り組みのきっかけ

- 健診実施機関として、まずは我々が取り組もう

取り組みの内容

- 年齢に関係なく、対象者全員に特定保健指導を実施
- 月例会議や管理職会議での医師等による健康講話の実施

取り組みの成果

- 若年層からの健康意識の醸成
- 採用活動における好影響



通常、特定保健指導は40歳以上が対象となります

取り組み内容を 教えてください

当社は健診実施機関であり、健診を通じて皆様の健康を支援しています。そのような中、健康経営は、企業が社員の健康づくりに積極的に取り組むことで、経営面でも大きな成果をもたらす考え方であることを知り、「まずは、我々がやってみようじゃないか」ということで始めたことがきっかけです。

取り組みの きっかけは？

特定保健指導の積極的支援の対象者は、ここ数年で順調に減少しており、改善

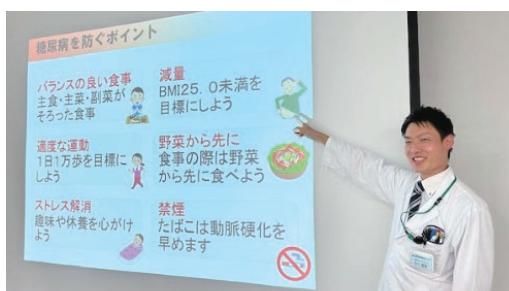
取り組みの 成果は？

が、健診実施機関であることの強みを活かし、当社の社員である専門職（保健師・管理栄養士）が、年齢に関わらず、健診結果で特定保健指導の基準に該当した社員全員に特定保健指導を実施しています。各部門の所属長と連携し、仕事の状況を確認したうえで初回面談の日程を決定し、全員が参加できるようにしました。

かねてから取り組んできた、「喫煙率10%未満及び数

今後の目標を 教えてください

に向かっています。また、動機づけ支援の対象者で、毎年、対象となった方はほとんどおらず、対象者の数値が改善してまいりました。全年齢を対象とすることで、若年層への健康の意識づけにもつながり、生活習慣の改善にも効果が出ています。また、当社が健康経営に取り組んでいることを理由に、採用説明会に参加する学生もおり、採用活動へも好影響が出ています。



健康講話



施設内観

地内全面禁煙」を実現することができました。今後は、「時間外労働月42時間以内、年320時間以内」を指すとともに、引き続き、健診受診率100%を維持しつつ、「要治療・要再検査となった社員の医療機関への受診率100%」を目指します。

一般財団法人 滋賀保健研究センター

健康診断実施機関

〒520-2304

野州市永原上町664

創業 1980年6月

理事長 三原 卓

従業員数 246名

<https://www.shrc.or.jp>



2019・2020・
2021・2022 取得



社員が元気に仕事に取り組める職場環境の整備に向けて、取り組みを推進しています。健康経営を難しく考えず、まずはできることからスタートし、目標を一つずつ確実にクリアして行くことが大切だと考えます。



理事長
三原 卓

風通しのよい職場環境づくりを目指して 腫瘍マーカー検査の全額補助による全員受診

取り組みのきっかけ

- 働きやすい職場づくりの実現を目指して

取り組みの内容

- 腫瘍マーカー検査の全員受診・全額補助
- 年4回の労務健康ヒアリングの実施
- No残業デー(週1日)の100%実施
- 誕生日休暇制度の導入
- 感染症対策で社内空調システムの導入
- 傷病治療と仕事の両立支援施策の実施

取り組みの成果

- イノベーションの原動力
- 社員の健康状態の改善
- リクルート面での好影響



働き方改革の社内ワークショップ



男性育児休業者の新しい家族と対面

取り組みの きっかけは？

当社事業所のある草津市が「健康都市」を推進しており、市商工観光労政課の情報提供から健康経営への取り組みに興味をもち、この取り組みが働きやすい職場づくりの実現につながることを考えたのがきっかけです。

以前より経営層の健康に関する意識が高く、毎月の全体会議で社員全員に健康をテーマとする講話を行ってきました。社員に健康づくりへの理解があったことも、スムーズに取り組みめた要因と言えます。

取り組み内容を 教えてください

通常の健診に上乗せで、社員に会社負担で腫瘍マーカー検査を実施しています。また、年4回(3か月ごと)の健康ヒアリングを実施しています。これによりこまめに社員の様子を把握でき、面談の中で出てきた課題については、経営層にフィードバックする体制を整えています。そのほか、社員の健康を第一に考え、空調システムを本社ビルに導入。感染症対策にも力を入れています。ワークライフバランスの観点から、週1日のノー残業デーや誕生日休暇制度も導入しています。

取り組みの 成果は？

ノー残業デーについては、当初、一部の部署から反発もありました。実現のためには業務の見直しも必要と考え、会議の見直しや、一部の



説明会で当社のSDGsの取組を紹介

今後の目標を 教えてください

業務を外部委託するなど、業務改革を進めました。社員が集中して、新しい仕事に挑戦できる環境を整備することで、イノベーションの原動力にもつながっています。また、健康経営優良法人の認定が就職活動時の安心材料になり応募したという声も多数あり、採用面での効果も出ています。

「風通しの良い職場環境づくり」の実現です。制度構築といったハード面だけでなく、face to faceのコミュニケーションから変革ムードを醸成し、取り組みを習慣化していくことが大切だと考えています。今後、ブライト500の取得を目指し、会社全体で社員の心と身体の健康維持・増進に積極的に関わっていきます。

株式会社 テクナート

産業機器、FA関連製品、医療機器分野などで使用するカスタムモニターの開発・製造

〒525-0037

草津市西大路町 2-21

創業 1989年5月24日

代表取締役社長 藤井 義則

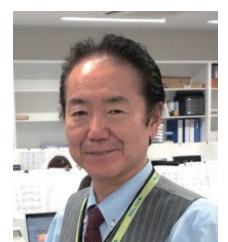
従業員数 63名

https://www.tecna.co.jp



地域未来牽引企業認定

新しい取り組みも大切ですが、既存の取り組みの中から、新たな健康づくりの取り組みの発見につながることもあります。健康経営を一過性の取り組みとせず、継続していくことが重要と考えます。



代表取締役社長 藤井 義則



2020・2021・2022 取得

「食育」を通じて社員を健康に 玄米を主とした食事改善と料理教室の開催

取り組みのきっかけ

- 知育・体育・徳育と同様に「食育」の大切さを認識

取り組みの内容

- 健康食品の無償提供
- 食育に関する研修
- 毎日のラジオ体操・ストレッチの実施
- 年1回の運動イベントの開催
- ノー残業デー(毎週水曜日とその他、月1日)の実施

取り組みの成果

- 病欠者の減少
- 社員間のコミュニケーションの活性化
- 健康意識の高揚



料理教室



ボーリング大会

取り組みの きっかけは？

経営者の集まりの中で取引先の知人から、玄米を主とした食事が食生活改善と健康につながるという話を聞き、「食育」の大切さを認識したことがきっかけです。「食育」の大切さを経営者と社員が共有し、共に取り組んでいく必要があると考え、健康経営に取り組んでいます。

取り組み内容を 教えてください

社員の食生活の改善を目的に、玄米を主とした健康

取り組みの 成果は？

健康食品の無償提供や、食育に関するセミナー、料理

食品を社員全員に無償提供しています。また、社員研修では、食育の一環としてセミナーや料理教室を開催し、栄養バランスの取れた食事について学ぶ機会を提供するとともに、社員同士のコミュニケーションの活性化も図っています。そのほか、心身のリフレッシュを目的に、毎朝のラジオ体操・ストレッチの実施や、年一回の運動イベント(運動会やボーリング大会等)を開催しています。



教室の開催により、健康に対する意識が高まり、食生活の改善につながっています。その効果か、病気による欠勤がほとんどなくなりました。また、毎日のラジオ体操・ストレッチの実施により、「身体が軽くなった。気分転換になった。」という声が聞か

今後の目標を 教えてください

事業は経営者と社員との良好なパートナーシップで運営されなければなりません。経営の四大要素「人・もの・金・情報」の中で、何といても「人」が最も大切であり、企業発展の基礎であると断言できます。今後も社員の健康を第一に考え、健康経営を推進していきたいと思っています。

れるようになったほか、ノー残業デーの実施により、社員の気持ちにゆとりができ、職場の雰囲気も明るくなっています。

社会保険労務士法人 中嶋事務所

社会保険労務士業

〒525-0029

草津市下笠町 4209-1

創業 1979年4月1日

会長 中嶋 忠男

所長 中嶋 秀忠

従業員数 38名

<https://www.ntc.ne.jp>

2020・2021・
2022 取得

健康経営優良法人
Health and productivity



すべてに勝るのは「健康」であり、健康あつての「事業」、「生活」です。食・運動・心の持ち方を大切に、よりよい職場づくりに取り組んでいきたいと考えています。



会長
中嶋 忠男



所長
中嶋 秀忠

既に社内で行っている活動の見直しや振り返りが健康経営のスタートに

取り組みのきっかけ

- 社内で行っている活動を振り返った結果

取り組みの内容

- 全社員対象の健康に関するセミナー
- 社員とその家族対象のスポーツ祭典の実施

取り組みの成果

- 社員一人ひとりの健康に対する意識の向上
- コミュニケーションの活性化



2022年3月にリニューアルした社員食堂。いつでも自由に使い、「場所にとらわれない働き方」をできるようにし、名称は「YAMASHINA DINING U+」と命名しました。

取り組みのきっかけは？

保険会社からの勧めもあり、社内で行っている活動を振り返ったところ、セミナー実施やスポーツ祭典の実施、毎朝のラジオ体操等、既に取り組んでいる内容で優良法人認定が受けられるのではないかと考えたことがきっかけです。認定の申請にあたり、これまで実施してきた各取組にしっかりと目的を持って取り組むようになりました。

全社員を対象に健康に関

取り組み内容を教えてください

セミナーに関しては実施

取り組みの成果は？

するセミナーを実施しています。テーマの選定は事業所カルテの結果を参考にしたり、社員からの声を基に決定しています。

また、毎年秋頃に社員とその家族でスポーツ祭典を実施しています。年によって、社内グラウンドで運動会をしたり、近くの運動公園をハイキングしたりしています。ここ数年コロナ禍で開催を見合わせていましたが、今年是对策の上、開催することができました。

後のアンケートで満足との声が多数でした。アンケートや安全衛生委員会の中から次回のテーマの提案もあり、社員一人ひとりの健康に対する意識の向上につながっています。また、スポーツ祭典は普段運動不足の社員が運動するきっかけとなっており、普段の仕事であまり関わりのないメンバーとも交流を深め、コミュニケーションの向上を図れています。

今後の目標を教えてください

社員一人ひとりの健康に対する意識をさらに向上し、社員の声から新たな取り組みを行いたいです。そして、その取り組みの結果、健康経営や働きやすい職場になればと思います。経営層からも働きかけを行い、今後、さらに取り組みを進め、健康経営の幅を広げていきたいと考えています。

山科精器 株式会社

FA化に貢献する各種専用工作機械、船舶用ならびに発電プラント向けの熱交換器、産業機械・船舶機関向け潤滑機および医療機器の製造販売

〒520-3001

栗東市東坂525

創業 1939年7月

代表取締役社長 大日 陽一郎

従業員数 140名

<https://www.yasec.co.jp>



2022 取得

既に取り組んでいる活動の見直しや、協会けんぽのサービスの活用等、すぐに取り組めることは多くあります。できることから取り組んでいくことが重要と考えます。



代表取締役社長
大日 陽一郎

「健康面談」で社員一人ひとりの健康に対する意識をさらに高めたい

取り組みのきっかけ

- 人々の健康に携わる企業として

取り組みの内容

- 今年度から「健康面談」を開始
- 就業時間内のラジオ体操
- 健康を意識した商品を取りそろえた自動販売機を設置

取り組みの成果

- 健康に関して話しやすい環境づくり
- 運動習慣をつけるきっかけ



ラジオ体操の様子

取り組みのきっかけは？

当社は、鍼灸院向けの鍼灸の製造メーカーですので、人々の健康に携わる企業として、まずは社員全員が健康で明るいことが重要だと考えました。健康経営に取組むことで、社員が健康への意識を高く持ち、全社員が健康で活気ある企業となることを目指したことがきっかけです。

取り組み内容を教えてください

当社では、今年度から「健康面談」を実施しています。

取り組みの成果は？

健康面談は、社員が改め

男女それぞれ相談員を配置し、年に一回社員と面談をします。健診結果の確認や再受診の励行、メンタルヘルス不調の相談など、健康に関して幅広く話ができる環境を整えられたと考えています。また、同じく今年度から始めたラジオ体操は運動不足の社員等から好意的に受け取られています。そのほか、健康を意識した商品を取りそろえた自動販売機を新たに設置するなど、できることから実践することを心掛けています。

て自身の体と向き合い、生活習慣を改善する場となりました。また、女性専用の相談員を設けることにより、女性社員にとって話しやすい環境を作れたのではないかと感じています。

また、ラジオ体操の実践は、社員に運動習慣をつけるきっかけになりました。今後も継続することで、肩こりや腰痛の軽減等に役立たいと思います。

今後の目標を教えてください

健康経営優良法人のロゴを名刺に印刷することで、展示会等で健康経営の情報交換をする場面も増えました。他社の取り組みも参考にしながら、自らの工夫で健康経営を継続していきたいと考えています。今後も社員一人ひとりが健康への意識をさらに高め、自ら積極的に健康経営に参加してもらえよう様々な取り組みを工夫していきたいと考えています。

株式会社 山正

鍼灸材料製造販売

〒526-0244

長浜市内保町238番地2

創業 1895年9月

代表取締役 押谷 小助

従業員数 35名

<https://moxa.net>



企業が社員の健康増進に対して積極的に関与することにより社員が健康になれば、生産性の向上、不良品率、事務ミス等の改善が図れ、結果的には企業の収益アップに繋がると考えます。



専務取締役
押谷 優助



2022 取得

健康経営優良法人

「健康習慣アンケート」の結果を踏まえた フィードバックセミナーで健康意識を向上

取り組みのきっかけ

- 会員企業の働きやすい健康的な職場環境の推進のため

取り組みの内容

- 年に2回、健康習慣アンケートを実施
- アンケート結果を踏まえたフィードバックセミナーの開催
- 保険会社発行のワンポイントアドバイス

取り組みの成果

- 職員の健康に対する意識の向上
- 二次健診の受診率が向上



社内ボーリング大会



フィードバックセミナー

取り組みの きっかけは？

商工会議所の重要な事業である「経営支援の強化」や「人材育成」は健康経営によって推進できるところが少なからずあります。会員企業の働きやすい健康的な職場環境の推進のため、まずは商工会議所が自ら健康経営に取り組みことを決めました。

取り組み内容を 教えてください

保険会社の協力を得ながら、年に2回健康習慣アンケートを実施し、その結果

取り組みの 成果は？

職員の健康に対する意識が向上しました。具体的には、定期健診等で再検査等の指摘を受けた職員の再検

を踏まえたフィードバックセミナーを開催しています。また、保険会社のワンポイントアドバイス等を活用することによって健康意識しやすい環境づくりを心掛けています。

そのほか、施設内での喫煙に関しては、分煙からスタートし、段階を経て、現在は構内全面禁煙を実施するに至っています。

今後の目標を 教えてください

この先何十年も地域社会になくってはならない存在であるためには、職員が健康で長く働ける環境を作っていく必要があります。また、地域経済発展のためにも会員

査受診率が向上しています。また、特定保健指導に該当する職員については、保健指導に取り組んだ結果、保健指導の対象から外れ、現在は保健指導対象者がいない状態になりました。これらの職員の意識が継続するように今後も取り組みを継続していきたいと考えています。

企業に健康経営の取り組みを進めることも大切であると考えます。

そのためにも、商工会議所が積極的に情報発信を行って、健康経営に取り組み、従業員の活力が組織の活性化をもたらし、業績向上につながる企業を一件でも多く増やしていきたいと思えます。

八日市商工会議所

経済団体

〒527-0021

東近江市八日市東浜町1-5

創業 1956年3月30日

創 業 頭 会 二橋 省之

従業員数 14名

<https://www.odakocci.jp>



2020・2021・2022 取得

健康経営優良法人
Health and productivity



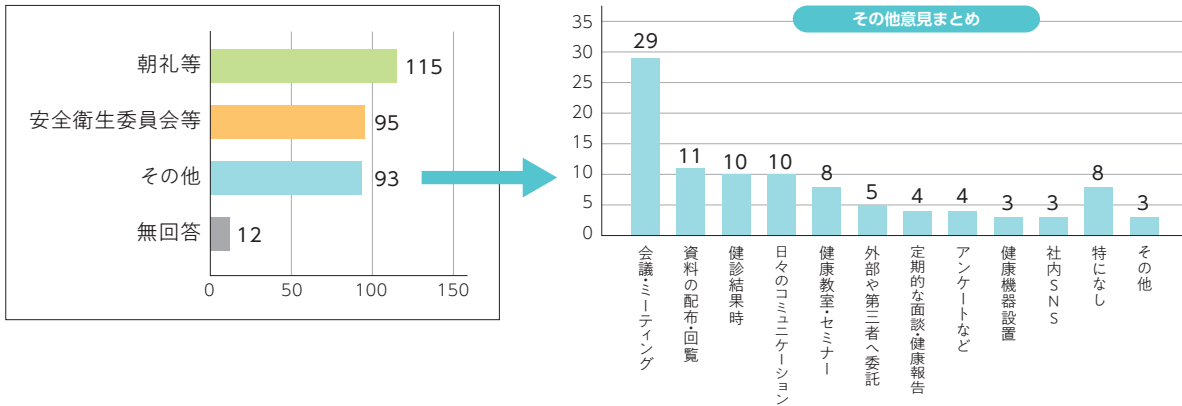
人材確保は企業にとって最優先とすべき経営課題です。健康経営に取り組んでいる企業は、採用時の求職者側の選択肢の一つになりメリットがあると考えております。



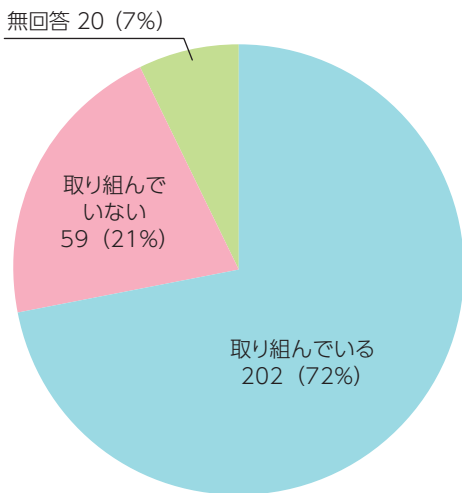
会頭
二橋 省之

目的 「健康アクション宣言」の質の向上・拡充に向けての現状把握
 実施 2022年5月 回答状況 281/468事業所 回答率 60.0%

アンケート ① 貴事業所で社員の健康について考える機会や場はありますか？



アンケート ② 特定保健指導の実施機会の提供について、貴事業所での取組状況とその内容（取り組んでいない場合はその理由）を教えてください。



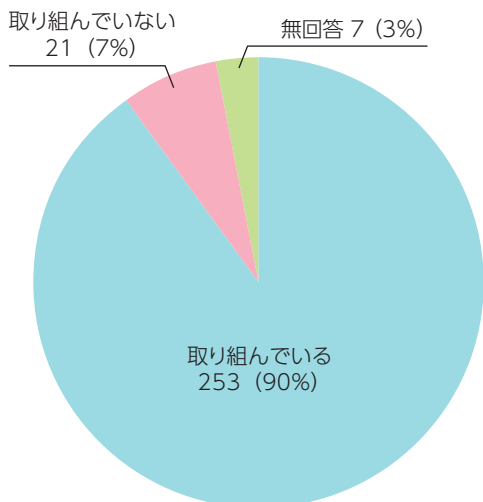
【取り組み内容】（抜粋・一部文言を修正）

- ・保健指導を受けやすいよう、勤務時間中で実施して、対象者の受診率向上に努めている。
- ・該当の社員にできるだけ指導を受けるように伝えている。
- ・産業医の面談時に保健指導利用を勧奨し指導につなげている。
- ・コロナ期間中のため、職員から「生活習慣のおたずね」など返信書類は事業所でとりまとめ、送付を請負っている。

【取り組んでいない理由】（抜粋・一部文言を修正）

- ・外勤者が多く直行、直帰の社員も多く、取り組めずにいる。
- ・実施の必要性は感じているが、手がまわっていないのが現状。

アンケート ③ 健診結果が要検査や要治療の従業員に対する医療機関への受診勧奨について、貴事業所での取組状況とその内容（取り組んでいない場合はその理由）を教えてください。



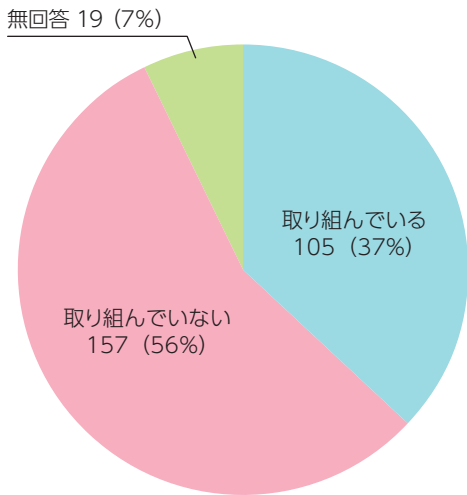
【取り組み内容】（抜粋・一部文言を修正）

- ・面談・書面及び対面による声かけ、費用の会社負担。
- ・保健師が面談し、受診勧奨、健康相談を行っている。
- ・上長より受診勧奨し、受診日と受診機関の報告を人事課にするよう依頼、社内報での受診啓発。
- ・社内グループウェアを用いて受診勧奨をしている。
- ・産業医面談を受けて、必要な方には紹介状を作成。後日主治医からの返答についても産業医へフィードバックしています。

【取り組んでいない理由】（抜粋・一部文言を修正）

- ・もともと健康意識が高いので、各自すすんで受けています。
- ・本人に任せています。

アンケート ④ 被扶養者への健診受診勧奨について、貴事業所での取組状況とその内容（取り組んでいない場合はその理由）を教えてください。



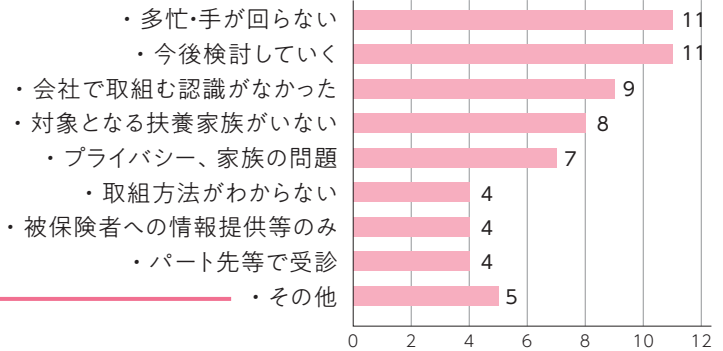
【取り組んでいない理由その他】 (抜粋)

- ・外国籍の従業員への言語の問題。
- ・依頼があれば行っている。
- ・情報誌、通信誌により間接的な対応のみ。

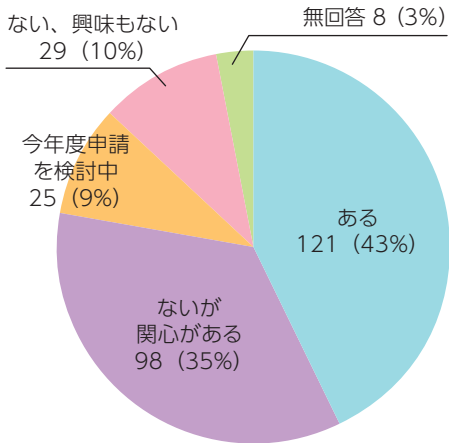
【取り組み内容】 (抜粋・一部文言を修正)

- ・配偶者の健診費用を負担している。
- ・毎年、被扶養者の方へ封書で連絡している。
- ・社内報にてお知らせを掲載している。
- ・産業医がご家族の健康相談も受けている。
- ・生活習慣病予防健診案内時に被扶養者についても受診をするよう、通知をしている。
- ・従業員の受診申込時に、家族の受診希望を聞いている。

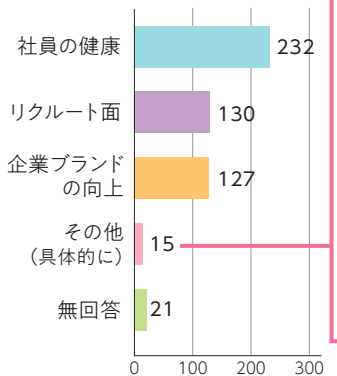
【取り組んでいない理由】 (内容記載あり63件まとめ)



アンケート ⑤ 健康経営優良法人認定を受けられたことがありますか。



アンケート ⑥ 健康経営優良法人認定を受けるメリットとして、貴事業所が実感されている事や期待されている事を教えてください。(複数回答可)

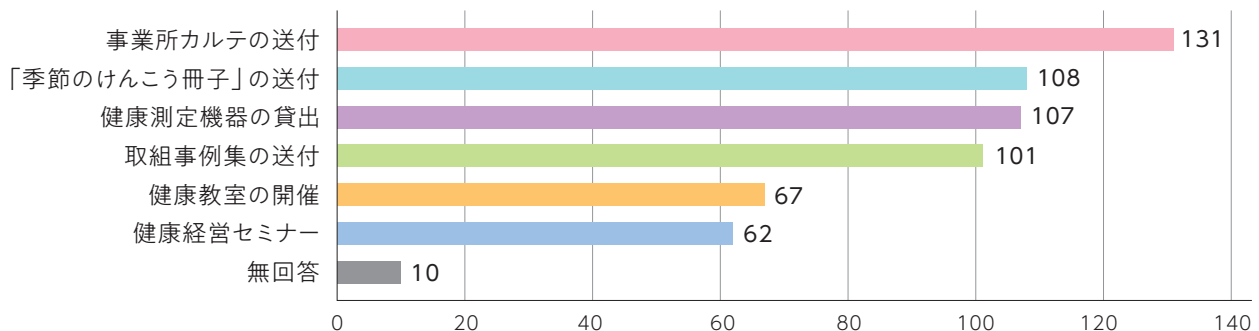


【その他意見の内容】

(抜粋・一部文言を修正)

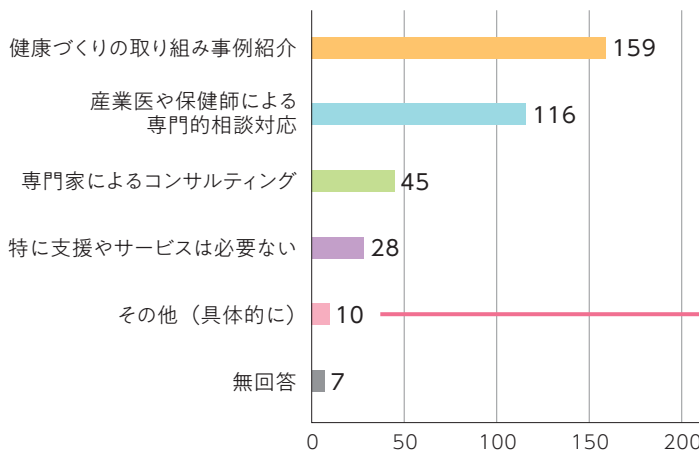
- ・社員の向上心、取引先への信頼関係。
- ・会社の仕組みを健康経営をきっかけに、多岐にわたり改善できた。
- ・業界の意識改革。
- ・社内制度・風土の改善。
- ・社員のモチベーションアップ。
- ・公共団体、各種団体からの援助。

アンケート ⑦ 協会けんぽ滋賀支部の健康づくりサポートの中で、役に立ったまたは利用したいと思われるものをご回答ください。(複数回答可)



アンケート 8

今後、貴事業所において従業員の健康づくりの取り組みを向上させるために有効な支援サービスはどのようなものとお考えですか。(複数回答可)



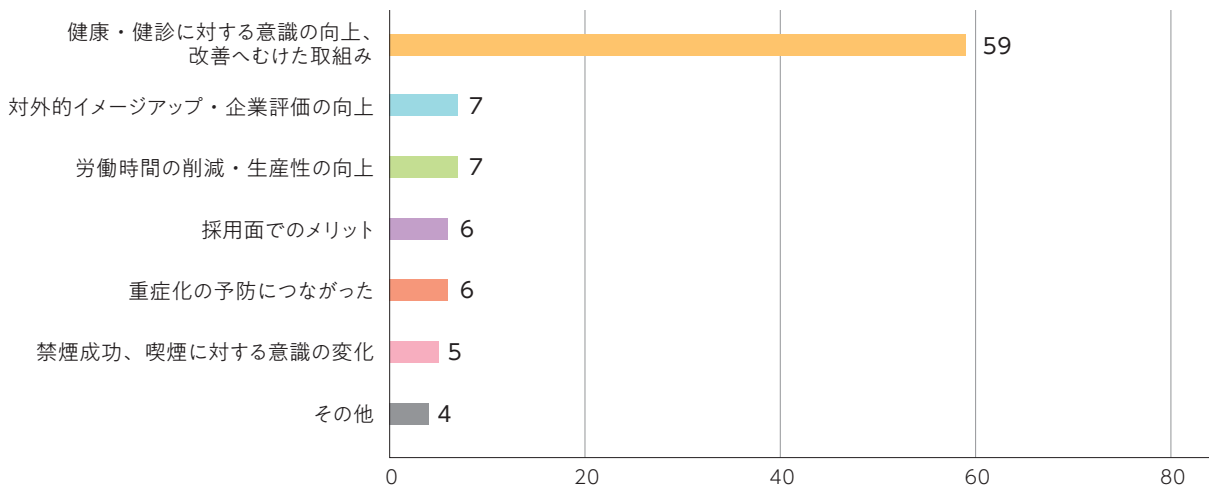
【その他意見の内容】(一部文言を修正)

- ・日時にしばられないオンラインの健康セミナー。
- ・無料アプリなどの提供。
- ・健康イベントなどへの参加。
- ・掲示物の提供。
- ・健康測定機器の貸出。
- ・可能であれば、職場に定着するまで指導していただきたい。
- ・出前講座(健康づくりの基本から)。
- ・健康経営アドバイザー取得。

アンケート 9

貴事業所が健康経営に取り組んだことで、良かった点についてご記入ください。

【健康経営の取組みで良かった点 まとめ】(複数回答あり)



- ・まずは従業員の健康管理が出来ることによって、生活習慣の見直しを考えさせることができる。食生活や精神面の一端を知ることにより面談し、アドバイスを。
- ・社員が健康的な食事や、過ごし方などを意識してくれるようになり、体も疲れにくくなったと言っています。
- ・健康診断で指摘を受けた事をきっかけに、食生活の見直しや運動で、減量できた社員がいます。健康経営に取り組んだことで、自分の健康に感心を持ち、改善するきっかけになった事をうれしく思っています。
- ・休日数も増やし、定時退社の日も作り、従業員の働き方に対する意識も変化してきている様に思う。自分の時間を作ることにより、仕事に対する意欲も出てきているのではないかと。
- ・コロナ禍ということもあり、メンタル・体調が気になるスタッフも多いので、法人として個人によりそった支援ができるように配慮できた。
- ・自動販売機でトマトジュース(野菜ジュース)を入れたところ、予想より購入者が多く、健康志向の高い傾向があった。

健康や健診に対する意識の向上 改善へむけた取組み

健康経営に取り組んだことで 良かった点の具体的内容

(抜粋・一部文言修正)

アンケート 9

- 健康づくりについて、いろいろと配信（冊子やパンフレット、News等）いただいていますので、回覧しています。健康づくりについて、従業員の関心が深まっています。配信や情報は、どんどん頂きたいです。

- 従業員の健康に対する意識が高まった。また、健診結果の見方など、健康教室の開催により、自分の体と向き合う意識を持つようになったと思います。

- 担当者を含め、社員の健康に対する意識を深めるきっかけになった。自社で運用中の制度の見直しや充実のきっかけとなった。

- 社員の健康面の意識改善はもちろんですが、会社全体の健康について把握できるようになった。また、全社のコミュニケーションの促進となっている。

- 健康測定器の貸出しをしていただき、従業員同士のコミュニケーションも図れ、また、同じ機器で測定した結果で、自分の健康への意識をお互い高められたように思います。

- 特定保健指導を受けることにより、データのみの把握より、具体的に何を行えばよいか、分かるようになった。

労働時間の削減、生産性の向上

- 残業時間の見える化。安全衛生委員会での状況報告協議。

- 高年齢の社員も多いので社員の健康維持増進に努めることで、生産性の効率が向上した。

- 社員の健康が、会社の経営良好と通じると認識して、残業時間の縮小および有給の取得率の向上をアピールしたこと。

- 多様な働き方を推進でき、外部からの取り組みへの評価を頂くことで、経営者も理解いただき、労務制度の変革が実現できました。

- 遅刻や早退が無くなった。仕事の効率が上がった。

対外的イメージアップ 企業価値の向上

- 健康経営に本格的に取り組んで2年目、昨年初申請で健康経営優良法人の認定を受けました。今はまだ経営者と担当者主導の取り組みですが、それを通して、自社が社員の健康や生活を重視している企業だということが実感できました。

- 名刺に優良法人のロゴマークを印刷する事により、弊社が健康づくりに取り組んでいる事のアピールになる。3年間、中小規模優良法人に選ばれた。(2020年度はブライイト500に選ばれた。)

- 自社の認定取得にとどまらず、法人顧客の認定取得のサポートを行った(3社)。今年度は4~5社の追加取得を予定している。

重症化の予防につながった

- やはり健康診断の受診義務の必要性を各自に自覚してもらって取り組んでいる事。重病になる前の発見があった。

- 受診者が増えるにつき有所見者が増えたが、毎年重大な病気が発覚する従業員もあり、受診勧奨の苦勞が報われることもあり、今後も100%受診が続く様に取り組んで行きたい。

- 高血圧の方の出勤時の血圧測定と通院記録の提出で、少しずつ改善されてきたこと。

採用面でのメリット

- 採用のための会社見学において、健康経営に取り組んでいるということで参加してきた学生がいた。

- 当事業所は健康経営に取り組んだことで、社員の健康意識が変わり、お互いが気遣うようになりました。休みの日はしっかり休んで楽しんで、仕事の日は集中してしっかりと仕事をし、ON/OFFのきりかえをきちんとするように、一人ひとりが取り組んだ結果、生き生きと働く姿が見られるようになり、就職希望者がグーンと増えました。

- 従業員の定着率の向上、リクルート(新卒採用)における企業ブランドの向上。

禁煙成功・喫煙に関する意識の変化

- 健診結果が、要注意の職員に受診を推奨したところ、喫煙歴の長い者が禁煙外来を受診。禁煙に向けて受診継続している職員が増えた。

- 健康に関するミニセミナーを開催してから、喫煙者が大幅に減少した。

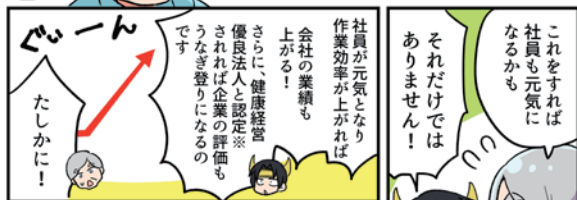
- 健康に対する意識向上のきっかけ作りになればと思いい、取り組みを始めましたが、今まであまり意識をしていなかった方(特に若い人達)の意識の変化が見え始めたのではないかと思います。煙草をやめたりなど。

- 就業規則に禁煙外来費用負担を記載したところ、2名が外来受診後成功しました。その後喫煙者も減少しました。

(アンケートにご協力ありがとうございました。)

会社の未来は従業員の健康にあり！ 三成さんとともに健康アクション宣言

目指すは滋賀の繁栄！イメージキャラクター石田三成さんが、従業員の健康管理に悩む事業所を導きます。
協会けんぽ滋賀支部では、健康経営に取り組む事業所の皆様をサポートする取り組みとして「健康アクション宣言」事業を行っています。このマンガを読んでもらえ、健康経営を始めるきっかけとして、健康アクション宣言事業にエントリーいただければ幸いです。



いざいざ！

健康アクション宣言をしたら



※事業所規模等に応じて、事業所別ではなく業種別カルテを提供することがあります。

協会けんぽ滋賀支部の
ホームページから、
宣言に必要な
エントリーシートや
健康度チェックシートが
ダウンロードできます

全国健康保険協会滋賀支部



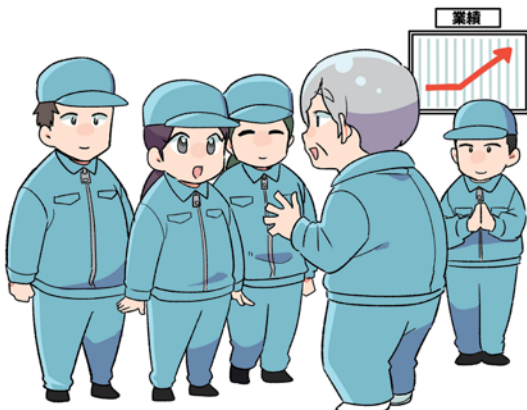
<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/shiga/>

協会けんぽ 滋賀

検索



次ページでは
宣言の流れや顕彰制度について
お伝えしています。



(このマンガはフィクションです)

従業員の健康が会社の未来につながる 健康アクション宣言から始める健康経営

健康経営とは、従業員の健康を経営上の財産と捉え、積極的に従業員の健康づくりをサポートすることで企業の成長を目指す経営スタイルのことです。

今注目されている健康経営

健康経営が注目されているのは、従業員の健康状態が良くなれば、働く意欲が高まり、欠勤率や離職率も低くなるといったメリットが見込めるためです。

健康な従業員が増え、医療費が減る効果があるほか、健康経営に力を入れる企業は、長期的にみると、株価も好調だということです。

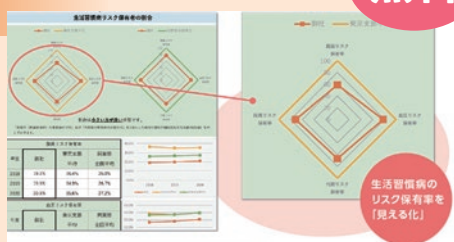
協会けんぽが御社の健康経営をサポートします！

「健康経営といっても具体的にどうすればいいかわからない」そのような事業主の方もご安心ください。協会けんぽ滋賀支部では、健康経営に取り組む事業主様が従業員の健康づくりに取り組みやすいよう、「健康アクション宣言」を通して様々なサポートを行っています。

職場の健康づくりを応援します！

- 事業所の健康状態を確認できる「事業所カルテ」※や「健康づくりに役立つ情報誌」を定期的にお届けします。
- 健康づくりに積極的に取り組んでおられる事業所様の取組事例をまとめた冊子を提供しています。
- 健康経営優良法人認定制度の認定要件や手続き方法、健康増進の取り組みなどをご案内する「健康経営セミナー」を開催しています
- 事業所内での健康づくりに役立つ健康教室や、健康測定機器の貸出を無料で行っていきます。

※事業所規模等に応じて、事業所別ではなく業態別カルテを提供することがあります。



事業所カルテ



健康経営セミナー

無料



健康アクション宣言の
エントリーは、簡単です

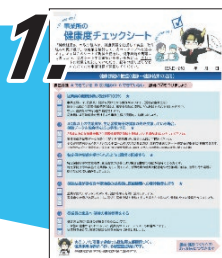
健康アクション宣言は、事業所全体で「健康づくり」に取り組むことを事業主の皆様が宣言いただき、その取組を協会けんぽがサポートする仕組みとなっています。まずは健康アクション宣言へエントリーしてみましょう！

「健康づくり」に取り組みましょう！

宣言証

〇〇株式会社 様
貴事業所は、健康経営に取り組むことを宣言されましたので、ここに「健康アクション宣言」登録事業所であることを証します。
令和4年3月1日
全国健康保険協会滋賀支部
支隊長 西田 敏

健康アクション宣言にエントリーいただいた事業所様には、協会けんぽから「宣言証」をお送りします。受付などに掲示して、内外にPRしましょう。協会けんぽのホームページにも事業所名を掲載します。



健康度チェックシートで健康づくりの現状をチェック



エントリーシートに1.の結果と事業所および担当者様の情報をご記入ください。

3. エントリーシートを協会けんぽ滋賀支部へ、FAX送信または郵送で完了！



さらなるステップアップへ 健康経営優良法人認定を目指しましょう！

健康経営優良法人認定制度とは？

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。経済産業省が制度設計を行い、日本健康会議が認定しています。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができ、環境を整備することを目的としています。

認定されると、どのようなメリットがありますか？

健康経営優良法人に認定されると、経済産業省のホームページに社名が掲載され、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理の取り組みが優良な法人」として社会的な評価を受けられます。また健康経営優良法人ロゴマークの使用が可能となりますので、ホームページや名刺などに掲載してアピールすることができます。

そのほか、健康経営優良法人向けに、自治体や金融機関等においてさまざまなインセンティブがあります。

経営的にも様々なメリットがあります

インセンティブの例

金融市場では…優遇金利での融資
労働市場では…求人広告への掲載
公共調達では…入札評価 等

ロゴマークの使用許可



経済産業省ホームページでは、制度の内容やインセンティブについての詳細が掲載されています。

どのくらいの企業が認定をうけていますか？

第6回目となる健康経営優良法人2022（令和4年3月9日発表）では、大規模法人部門に2,299法人が、中小規模法人部門に12,255法人が、日本健康会議より認定されています。

滋賀県でも多くの法人が認定
健康経営優良法人2022

● 大規模法人部門 18 法人

● 中小規模法人部門 146 法人

協会けんぽや滋賀県の 顕彰制度もあります

協会けんぽ滋賀支部では、健康アクション宣言にエントリーされた事業所の中から、協会けんぽの評価項目をクリアされた事業所様を「健康づくり優良事業所」として表彰しています。また、滋賀県の健康寿命推進プロジェクト表彰においての評価項目にも沿った内容となっていますので、健康アクション宣言の取組内容が進めば、滋賀県の表彰にもつながります。

認定には、まず協会けんぽの「健康アクション宣言」へのエントリーが必須です

協会けんぽ滋賀支部に加入の事業所様が、健康経営優良法人認定の申請をするには、**協会けんぽ滋賀支部の「健康アクション宣言」へのエントリーが必須**となっています。エントリー時にチェックしていただく「健康度チェックシート」は、健康経営優良法人認定制度の評価項目に沿った内容となっています。

▼認定までのながれ

1

取り組み内容を健康宣言のエントリーシートに記入し、滋賀支部へFAX
エントリーは随時受付中!

2

認定基準に沿って健康づくりの実践
滋賀支部がサポートします!

3

経済産業省ホームページなどで翌年の申請方法などが公表
例年7月下旬頃

4

「健康経営優良法人」認定事務局に申請
例年の申請期間
8月末～10月中旬

5

審査

6

「健康経営優良法人」認定企業の発表
例年
翌年3月中旬頃

全国健康保険協会 滋賀支部

〒520-8513 大津市梅林1-3-10 滋賀ビル3階

TEL 077-522-1099(代)

受付時間 平日8:30～17:15

